

# ぶらあ〜と通信

発行元 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」  
〒086-1004  
標津郡中標津町東4条南4丁目9番地1  
中標津町共生型交流センター内  
電話 0153-73-3178  
ファックス 0153-73-3179  
電子メール [nemurokeniki.soudan2@apost.plala.or.jp](mailto:nemurokeniki.soudan2@apost.plala.or.jp)  
ホームページ <http://www.dofukuji.or.jp/access-nemuro/>

## 第12号

## 権利擁護セミナー終了

平成24年3月18日(日) 10:00~12:00 に別海町交流館ぶらと(北海道野付郡別海町旭町67-1)で開催いたしました『「障がい者の地域生活と権利擁護」～知的障がい者の地域移行から伝えたいこと～』が日曜日の午前中にも関わらずたくさんの方に参加いただき盛会裏に終了しました。

今回は、北海道社会福祉会釧根地区支部と共催にて実施し、小林 繁市 氏(社会福祉法人 北海道社会福祉事業団 参与)に来町していただきました。

- ・講師の障害のある息子を持つ親として視点から、障がいを持ちながら地域で生活することの意義。
- ・伊達市の各事業所の連携から可能となった伊達の街づくりの視点。
- ・太陽の園(一生安心して生活できる)から地域移行(本人の希望に沿った)へ取り組み始めた経過。
- ・家族の願い(入所)と本人の願い(地域生活)が違う場合でも、家族に安心してもらえるための地域の仕組みづくり。

等などについてお話をいただきました。

当時者の想いを知り、権利擁護の視点で地域生活を支援していくことで、市民の協力得て、街づくりが行われ、安心した地域生活を実現できる街になると力強い講話をいただきました。

後援いただいた関係機関、参加いただいたみなさま本当にありがとうございました。



# 地域のか、紹介します。

## 地域活動支援センター『とっどる』

羅臼町の地域活動支援センター『とっどる』にお邪魔してきました。

平成21年9月に引っ越してきたこのきれいな建物には、みんなでお昼ごはんを作る調理室や会議室などが備わっており、広々とした、とても快適な空間でした。2階には羅臼町社会福祉協議会が入っています。



この日のメニューはハヤシライス  
1か月ごと職員が献立を考えて  
みんなで作っています

開設して4年になる『とっどる』現在は6名の方が在籍しています。今では、その存在が町みなさんに浸透してきており、だんだんと仕事も増えてきたとのこと。現在、羅臼町や漁協から受託している医師住宅・コミュニティセンター・浄水場の清掃が主な仕事となっています。利用者さんからは「忙しいんだ〜」という声が聞かれましたが、そう話す表情からは自信がうかがえました。



その合間に、様々な製品づくり。流木で作った写真立てからは、温かさがにじみ出ています。小物入れも手作り感満載！！ひとつひとつ表情が違います。



この日は「あとはニスを塗るだけなんだ」と、完成間近の作品を見せてくださいました。自然と笑顔になっちゃうくらい、素敵な作品です。



先日、中標津町で行われた「福祉のつどい」にも参加。そこでは、期間限定で作られた鮭の薫製が販売されていました。マリネに最適!!ということで、私も購入しましたが、あまりのおいしさに、そのまま全部食べてしまいました・・「今年も改良を加えて作ります」とのことなので、その時期を楽しみに待ちたいと思います♪

# 地域のか、紹介します。

## 『どんぶりカフェ&お弁当・くれぱす』

中標津町に誕生した『どんぶりカフェ&お弁当・くれぱす』を紹介します。

『くれぱす』は、障がいを持った方々の就労の場として、平成23年12月10日にオープンしました。

福祉サービスのひとつである「就労継続支援」には、企業側と利用者が雇用契約を結び、原則として最低賃金を保証する「A型」と、雇用契約を結ばず、生産活動などを中心に利用者が比較的自由に働ける「B型」があります。『くれぱす』は、根室管内で初めての就労継続支援A型事業所です。

『くれぱす』とは、「キャンパスに様々な色、様々な個性を出して絵を描くように、お互いの個性を尊重し、助け合い、励ましあってひとつのお店、地域を作り上げていく」という想いから名付けられました。



地域の食材を活かしたどんぶり（約20種類!!）や日替わりのお弁当がメインとなっています。お持ち帰りもOK、注文数によっては出前も行っているということで、お昼時には近くの会社や団体から注文が多く入っているそうです。メニューのほとんどが450～500円ということで、ワンコインで食べられる手軽さも魅力のひとつですね♪

ちなみに、メニュー制覇を目指している私のおススメは、塩だれ豚丼です（カレーも捨てがたい・・・）

また、地元の材料を使用したプリンやクッキー、シフォンケーキなど、利用者さん手作りの喫茶メニューも好評です。

「こちらで働くようになって自信が持てた」「働くことが楽しい」と話す利用者のみなさんが、お店に行くたび素敵な笑顔で出迎えてくれます。中標津町にお越しの際に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか？

### どんぶりカフェ&お弁当 くれぱす

住所 中標津町大通り北2丁目17番地2  
電話 0153-74-0703  
営業時間 11:00～20:00





# 研修旅行参加

平成24年2月25日～26日に中標津町障害児者連絡協議会の企画で、研修旅行が実施され一緒に参加させていただきました。

視察先は、音更町のNPO法人『地域で一緒に暮らそう会』で運営している「きらきはうす」、「共生型地域サロンHUG☆はぐ」、「ケアホームかのん（花音）」と同じく音更町にある社会福祉法人「更葉園」のでした。

今回の施設見学では、親の会や関係機関、当事者、手話通訳も同行し、色々な立場の方が同じバス、同じ宿に宿泊し濃厚な交流をすることができました。

## 《NPO法人『地域で一緒に暮らそう会』》

「障害を持った人が当たり前のように地域で受け入れられるようになれば」という想いで4家族が中心となり設立したNPO法人で、もう少しで社会福祉法人へ移行するとお話がありました。

現在では、居宅介護や短期入所、ケアホーム、日中一時支援事業等など、たくさんのサービスを提供し運営しているとのことでした。

## 《社会福祉法人「更葉園」》

身体障がい者を中心とした施設として昭和37年より運営を行っているということでした。施設内には印刷工場、「まくら」の再生工場、納豆工場等充実した設備があり、多くの仕事を産み出していました。

仕事も印刷工場では自治体の有料ゴミ袋の受注も受けていたり、納豆も十勝の豆を使い手作りで生産し、帯広のデパートや地元の商店などで販売をしているということでした。



自慢の「納豆」  
すごくおいしかったです。

## 「スペース あくせす。」

「あくせす根室」では毎週金曜日に共生型交流施設にて10:00～16:30の時間で『居場所』として、フリースペースを開設しています。

楽しく、のんびり、どなたでもOKということで、皆様のご参加をお待ちしております。  
(別紙に案内を同封していますので、ご参考までにご覧ください。)

\*職員の業務の関係でお休みすることもありますのでご了承ください。

## あとかぎ

今年度の最後の「ぶらあ〜と通信」が発行ができました。

大変遅くなりましたが一読していただくと幸いです。

今後ともよろしくお願いたします。

